

次世代型航空機部品供給ネットワーク 第3回フォーラムを開催

部品市場への参入めざす

ねじ企業など300名余が参加

次世代型航空機部品供給ネットワーク（略称：OWO）、会長・田中弘一氏は、第3回フォーラムを10日、大阪市北区「クラキョーブ大阪」で開催。ねじ企業を主参加者300名余が次世代型航空機部品市場への参入をテーマとした講演と本を熱心に聴講するとともに、パネルディスカッションでは航空機部品市場への参入を巡って、航空機メーカー、航空機部品供給業者、並びにOWOから田中会長らが活発な討論を展開した。

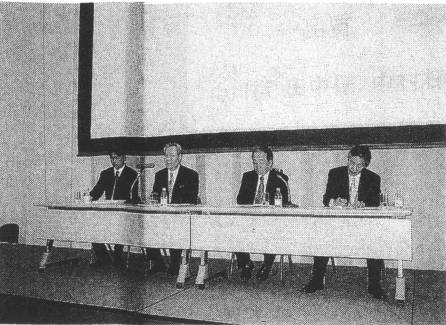


挨拶する由良OWO副会長

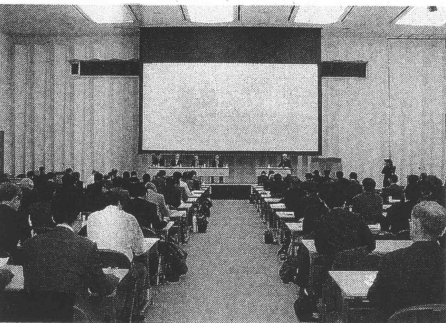
同フォーラムでは、まず開会挨拶をOWO副会長・由良豊一氏（由良産商機）がおこなひ、次世代型航空機部品供給ネットワーク（以下「OWO」(On the Wings of Osaka、大阪の翼に)）は、新分野進出のために経営革新を必要とする中小企業が、パートナーシップ型ネットワークを使って、次世代型航空機市場参入に要する諸事業を共同で行うことにより、付加価値の高いマーケットに通用する革新的技術を提供することにも販路開拓につながることを目指す。

当面は、次世代型航空機の技術動向や要求技術レベルなどの情報収集、研究を行い、近い将来はこのネットワークに参加企業単独、もしくは共同で開発された部品が次世代型航空機に搭載されることを目指しています。

OWOの目指すところは、共同受注だけではありませんが、高度な独自技術に基づく製品を有しているも、中小企業海外のエンドユーザーに直接部品納入を叶えることは簡単ではなく、中小企業が参入の障壁を多クするため、シンクタンクとしての役割によるサポートが必要不可欠です。よってOWOでは、情報収集や調査業務を通して、会員企業の航空機業界参入をサポートし、国内産業の活性化に寄与することを目指しています。



発言する田中OWO会長（左から2人目）



盛会だったフォーラム

これらを実現するため2004年10月の第1回フォーラム（三鷹市）、2005年2月の第2回フォーラム（ホテル日航大阪）に続いて今回、航空機産業への参入を目指すためユーザーからの要望や製造現場からの要望を取り組みについて意見交換を行うとともに、さらなるOWOとしての活動強化・会員拡大を図るため、第3回目の開催となった。開催の趣旨を説明した。続いて来賓を代表して近畿経済産業局・産業部長の赤井誠次氏が挨拶。